

第30回

社会言語科学大会

Program of the 30th Biannual Meeting of the Japanese Association of Sociolinguistic Sciences

2012/9/1-2

日時:2012年9月1日(土)/2日(日) 受付開始:9:30

場所:東北大学 川内南キャンパス 〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内27-1

交通 :JR 仙台駅より仙台市営バス乗車(9番のりば)宮教大・青葉台行「東北大学川内キャンパス・萩ホール前」下車(約15分,運賃180円)
アクセス・経路の詳細については、<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/about/10/about1003/index.html> 参照

参加費(大会論文集1冊込) :4,000円/会員 5,000円/非会員 3,000円/学生会員 4,000円/学生非会員

問い合わせ先 :社会言語科学会研究大会委員会 E-mail: jass-desk@bunken.co.jp <http://www.wdc-jp.com/jass/30/>

		9月1日(土)			
9:30-		受付〔文科系中講義棟入口付近〕			
10:00-10:30	口頭発表	<セッション1> [文学部第1講義室] 司会:柳田直美(関西学院大学)	<セッション2> [文学部第2講義室] 司会:阿部新(名古屋外国語大学)	<セッション3> [法学部第3講義室] 司会:本田弘之(北陸先端科学技術大学院大学)	<セッション4> [経済学部第3講義室] 司会:竹口智之(サハリン国立総合大学)
10:35-11:05		・「小学校外国語活動」における英語習得に関する基礎研究 堀尾邦子(九州大学)	・命令・依頼行為からみる男女の行動規範とイメージ 増田祥子(大阪府立大学)	・話題選択スキームとストラテジーの日中対照研究 趙凌梅(東北大学)	・グループホームの職員がカンファレンスで未解決となった問題を再提示するひとつのやり方 <small>手話通訳付</small> 城綾実(日本学術振興会/滋賀県立大学)
11:10-11:40		・第二言語語彙習得におけるメンタル・レキシコンの構造 アソ、アイビー(大阪大学)	・「あつ」と「ああ」のコミュニケーション 高岸美代子(お茶の水女子大学)	・不満表明の日中対照研究:性差を中心に 莫晓雪(名古屋大学)	・説明の分節化を通じたイメージの共有:科学館新規展示物制作の打ち合わせ場面を事例に 平本毅(京都大学), 高梨克也(科学技術振興機構/京都大学)
11:45-12:15		・テキストマイニングによる外国人児童の作文語彙の分析 森篤嗣(帝塚山大学), 齋藤ひろみ, 陳楠, フルゲン・マリア・クラウディア・ワカ, 鳥田陽子(以上, 東京学芸大学)	・初対面の会話におけるほめに対する応答の分析 張承姫(関西学院大学)	・日中大学生のパーソナル・テリトリーへの言及可否に関する社会心理学的研究 関崎博紀, 許明子(以上, 筑波大学)	・オノマトペの音韻構造とオノマトペに伴う動作の時間構造 <small>手話通訳付</small> 細馬宏通(滋賀県立大学)
13:15-13:20		開催校ご挨拶〔法学部第1講義室〕			
13:20-14:50		招待講演〔法学部第1講義室〕 ・大規模災害への社会言語学的手法の適用について考える - 外国人被災者に「やさしい日本語」支援はどうか - 講演者:佐藤和之(弘前大学大学院教授) 司会:井上逸兵(慶應義塾大学)			
14:55-15:25		総会〔法学部第1講義室〕			
15:25-15:40		大会発表賞受賞式〔法学部第1講義室〕			
15:45-18:15	ワークショップ	<ワークショップ1> [文学部第1講義室] ・だれもが参加できる公正な社会をめざして - 情報保障とコミュニケーション - <small>手話通訳付</small> 企画責任者:松尾慎(東京女子大学) 参加者:菊池哲佳(仙台国際交流協会), Morris J.F.(宮城学院女子大学), 高嶋由布子(獨協大学), 松崎丈(宮城教育大学), 打浪(古賀)文子(淑徳短期大学), あべやすし(日本自立生活センター/愛知県立大学), 大塚裕子(公立はこだて未来大学), 森本郁代(関西学院大学), 岩田一成(広島市立大学), 岡典栄(明晴学園), 手島利恵(東京女子大学), 布尾勝一郎(国際交流基金)	<ワークショップ2> [法学部第3講義室] ・つなぐ言葉としての方言 - 被災者・支援者・そして研究者 - 企画責任者:小林隆(東北大学) 参加者:田中宣廣(岩手県立大学), 櫛引祐希子(追手門学院大学), 竹田晃子(国立国語研究所)	<ワークショップ3> [経済学部第3講義室] ・ナラティブ研究の多様性を超えて:その展開の行き先を考える 企画責任者:話題提供者:秦かおり(立教大学) 企画責任者:佐藤彰(大阪大学) 話題提供者:井出里咲子(筑波大学), 岡本多香子(日本女子大学), 饒平名尚子(フェリス学院大学)	
18:30-		懇親会〔川内文系食堂〕			

		9月2日(日)			
10:00-		受付〔文科系中講義棟入口付近〕			
10:30-11:45	ポスター	<ポスター発表> 司会:多々良直弘(桜美林大学), 小西いづみ(広島大学)〔文学部311・315講義室〕 ・日本語教師の自己成長と「他者」からの学び 手島利恵(東京女子大学)			
12:45-13:15	口頭発表	<セッション5> [文学部第1講義室] 司会:榎本剛士(金沢大学)	<セッション6> [文学部第2講義室] 司会:布尾勝一郎(国際交流基金)	<セッション7> [法学部第3講義室] 司会:本田明子(立命館アジア太平洋大学)	<セッション8> [経済学部第3講義室] 司会:西尾純二(大阪府立大学)
13:20-13:50		・討論における日本語話者と英語話者のスピーチアクトの違い 吉田亜美(大阪大学)	・物語における聞き手の参与と語り手の承認 林始恩(筑波大学)	・受容過程に生じたトラブルに対処する修復について 張玲玲(北海道大学)	・秋田県の掛け合い歌「掛唄」の談話構造 梶丸岳(日本学術振興会)
14:00-16:30	ワークショップ	<ワークショップ4> [文学部第1講義室] ・「日本語会話データベース 縦断調査編」の構築と展望 - OPIの枠組みを活用した学習者会話データ公開の意義, 限界と今後の可能性 - 企画責任者:野山広(国立国語研究所) 参加者:嶋田和子(アクラス日本語教育研究所), 岡部真理子(国立国語研究所), 今村圭介(国立国語研究所)	<ワークショップ5> [法学部第3講義室] ・相互行為の中で知識を主張すること - 会話分析から見た「情報のなわ張り」 - 企画責任者:話題提供者:杉浦秀行(茨城大学/University of Auckland) 話題提供者:遠藤智子(日本学術振興会/京都大学), 黒嶋智美(産業技術総合研究所), 早野薫(お茶の水女子大学/Max Planck Institute for Psycholinguistics)	<ワークショップ6> [経済学部第3講義室] ・会話分析のスペクトラム - その広がりと可能性 - 企画責任者:平本毅(京都大学) 話題提供者:城綾実(日本学術振興会/滋賀県立大学), 戸江哲理(日本学術振興会/奈良女子大学), 増田将伸(甲子園大学), 横森大輔(日本学術振興会/名古屋大学) 指定討論者:西阪仰(明治学院大学)	